

教育委員と社会教育委員の懇談会での熟議の主な意見

(日時：令和4年8月3日(水) 13:15~14:45)

テーマ：学校・家庭・地域が連携・協働するための課題と解決策

学校・家庭・地域が連携・協働するための課題	解決策
協働体制に対する理解をどう進めるか。	キーワード： 共有 互いの知らないところを理解する。 そのために、価値観を多様化する必要がある。 情報共有ももちろん必要であるが、目的の共有も大事である。何のために というと、「子どものため」である。 負担なく関係を続けていくために、「ゆるく」繋がっていく。
地域の良さを学校が知っているのだろうか。	
家庭には踏み込みにくいのではないか。	
互いにどこまで協力してよいかわからないのではないか。	
世代間の考え方に違いがあるのではないか。	
地域コミュニティの担い手は固定化や高齢化の傾向にある。	キーワード： 入口 開かれた学校として自然と参加できるような入口（仕組み）を作る。 単発でも「ちょっとやってみよう」というような気軽な仕組みが良い。 インターネットや SNS を活用するなど、工夫した広報をする。
PTA や地域の組織も役員が決まらない。	
地域の行事や学校行事がわからない方も多いのではないか。	
協議会の会合が平日の昼間ばかりになると参加できない方もいる。	
担い手の世代交代の必要性があるのではないか。	
学校も家庭も地域也多忙であり、余裕があるのかどうか。	キーワード： 楽しむ 難しく考えずに、負担感や不公平感を感じないように楽しめるとよい。
関わる人と関わらない人の二極化や不公平感が生まれないか。	
負担と負担感は違うのではないか。	